

重点施策点検・評価表

1-1

基本目標																
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実															
重点施策																
1	安全・安心で快適な学校生活のための教育環境の整備充実を図る	担当課(館)														
	① 学校の改修・修繕など、経年劣化対策の実施による、快適な学習環境の整備	教育総務課														
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>建設後25年以上経過した小中学校が25校中22校と約9割となり、学校施設の老朽化対策を講じなければならない時期にきている。 ・各学校の改修、修繕が必要な事項の調査により、小規模から中規模のものは改修内容の分類、必要工事費総額の算出により、計画的に工事を実施する。大規模改修や建替えについては、国の補助金活用による実施を検討する。</td> </tr> <tr> <td>点検評価</td> <td> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 老朽化に伴う突発的・緊急的な破損・故障が増加傾向にあるが、学校運営に支障を来さないよう速やかに適切な処置を実施している。計画的な改修工事については、優先順位や緊急性を判断しながら、限られた予算を最大限に活用して施工した。 学校施設の老朽化対策は、イニシャルコスト優先よりも、長寿命化に向けたライフサイクルコストを重視した改修にシフトする方針としたことを踏まえ、3月に「大館市学校施設長寿命化計画」を策定した。 </td> </tr> <tr> <td>課題等</td> <td> 学校施設の改修には文部科学省の国庫補助金の活用が必須となるため、今後策定される「大館市学校教育環境適正化計画」を反映させ、補助採択に向けて長寿命化計画の内容を充実させる必要がある。 </td> </tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td> <td>バックデータ(大館市学校施設長寿命化計画)がしっかりしている。財源の確保を研究しながら、老朽化対策、基本方針にのっとり進めてほしい。また、目標どおり進められている点について、大きく評価したい。教育総務課は、学習環境の整備、学校教育、その他の教育環境に大きく関わる、そういう意識を持って取り組んでいただきたい。優先順位をどう算出するか難しい問題であるが、研究しながら進めてほしい。</td> </tr> </table>	活動内容	建設後25年以上経過した小中学校が25校中22校と約9割となり、学校施設の老朽化対策を講じなければならない時期にきている。 ・各学校の改修、修繕が必要な事項の調査により、小規模から中規模のものは改修内容の分類、必要工事費総額の算出により、計画的に工事を実施する。大規模改修や建替えについては、国の補助金活用による実施を検討する。	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 老朽化に伴う突発的・緊急的な破損・故障が増加傾向にあるが、学校運営に支障を来さないよう速やかに適切な処置を実施している。計画的な改修工事については、優先順位や緊急性を判断しながら、限られた予算を最大限に活用して施工した。 学校施設の老朽化対策は、イニシャルコスト優先よりも、長寿命化に向けたライフサイクルコストを重視した改修にシフトする方針としたことを踏まえ、3月に「大館市学校施設長寿命化計画」を策定した。	課題等	学校施設の改修には文部科学省の国庫補助金の活用が必須となるため、今後策定される「大館市学校教育環境適正化計画」を反映させ、補助採択に向けて長寿命化計画の内容を充実させる必要がある。	学識経験者等の意見	バックデータ(大館市学校施設長寿命化計画)がしっかりしている。財源の確保を研究しながら、老朽化対策、基本方針にのっとり進めてほしい。また、目標どおり進められている点について、大きく評価したい。教育総務課は、学習環境の整備、学校教育、その他の教育環境に大きく関わる、そういう意識を持って取り組んでいただきたい。優先順位をどう算出するか難しい問題であるが、研究しながら進めてほしい。	<table border="1"> <tr> <td>取組の方向性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="checkbox"/> 廃止検討</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="checkbox"/> 単年度</td> </tr> </table>	取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input type="checkbox"/> 廃止検討		<input type="checkbox"/> 単年度
活動内容	建設後25年以上経過した小中学校が25校中22校と約9割となり、学校施設の老朽化対策を講じなければならない時期にきている。 ・各学校の改修、修繕が必要な事項の調査により、小規模から中規模のものは改修内容の分類、必要工事費総額の算出により、計画的に工事を実施する。大規模改修や建替えについては、国の補助金活用による実施を検討する。															
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 老朽化に伴う突発的・緊急的な破損・故障が増加傾向にあるが、学校運営に支障を来さないよう速やかに適切な処置を実施している。計画的な改修工事については、優先順位や緊急性を判断しながら、限られた予算を最大限に活用して施工した。 学校施設の老朽化対策は、イニシャルコスト優先よりも、長寿命化に向けたライフサイクルコストを重視した改修にシフトする方針としたことを踏まえ、3月に「大館市学校施設長寿命化計画」を策定した。															
課題等	学校施設の改修には文部科学省の国庫補助金の活用が必須となるため、今後策定される「大館市学校教育環境適正化計画」を反映させ、補助採択に向けて長寿命化計画の内容を充実させる必要がある。															
学識経験者等の意見	バックデータ(大館市学校施設長寿命化計画)がしっかりしている。財源の確保を研究しながら、老朽化対策、基本方針にのっとり進めてほしい。また、目標どおり進められている点について、大きく評価したい。教育総務課は、学習環境の整備、学校教育、その他の教育環境に大きく関わる、そういう意識を持って取り組んでいただきたい。優先順位をどう算出するか難しい問題であるが、研究しながら進めてほしい。															
取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続															
	<input type="checkbox"/> 廃止検討															
	<input type="checkbox"/> 単年度															
	② 文部科学省のインフラ長寿命化計画に基づく「個別施設計画」の策定	教育総務課														
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の大規模改修や建替え事業は、多額の事業費となることから、地方財政措置のある国庫補助事業(長寿命化改良事業)で実施となる。 ・平成32年度から、国の事業採択には市の個別施設計画の提出が義務付けられることから、昨年度市で作成した「個別施設計画」をベースに、文科省が定めた項目を追加し作成する。 ・今後、作成する個別施設計画を踏まえ、大規模及び建替改修年次計画を策定し、H31年度から補助事業着手を可能とする。 </td> </tr> <tr> <td>点検評価</td> <td> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) これまで改築を前提としていた老朽化対策は、長寿命化改修に方向性を転換し、今後の方針を定めた「大館市学校施設長寿命化計画」を3月に策定した。 しかし、「大館市学校教育環境適正化計画」が未確定のため個別計画を反映させることが出来ず、当初計画していた平成30年度中の補助事業申請は見送った。 今後は、「大館市学校教育環境適正化計画」の策定に合わせて年次計画を作成し、補助申請の準備を進める。 </td> </tr> <tr> <td>課題等</td> <td> 補助申請に必要となる個別施設計画には、今後策定される学校環境適正化計画との調整、施設の劣化状況の調査、構造躯体の健全性や、今後必要となる維持・更新コストなどを反映させ、改訂版の作成が必要となる。 策定した長寿命化計画には学校教育環境適正化計画が反映されていないことから、改修の優先順位を定め、国の補助金が充当される長寿命化改良事業の採択に向けた計画書の見直しと内容充実に取り組む必要がある。 </td> </tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td> <td>目標を大幅に下回る結果となったが、原因がはっきりしている。そのことが大事である。次年度何をやるのか具体的に見えてくるので、その方向に向けて進んでほしい。長寿命化計画が策定できたことにより、申請も適正に行われることを期待したい。</td> </tr> </table>	活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の大規模改修や建替え事業は、多額の事業費となることから、地方財政措置のある国庫補助事業(長寿命化改良事業)で実施となる。 ・平成32年度から、国の事業採択には市の個別施設計画の提出が義務付けられることから、昨年度市で作成した「個別施設計画」をベースに、文科省が定めた項目を追加し作成する。 ・今後、作成する個別施設計画を踏まえ、大規模及び建替改修年次計画を策定し、H31年度から補助事業着手を可能とする。 	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) これまで改築を前提としていた老朽化対策は、長寿命化改修に方向性を転換し、今後の方針を定めた「大館市学校施設長寿命化計画」を3月に策定した。 しかし、「大館市学校教育環境適正化計画」が未確定のため個別計画を反映させることが出来ず、当初計画していた平成30年度中の補助事業申請は見送った。 今後は、「大館市学校教育環境適正化計画」の策定に合わせて年次計画を作成し、補助申請の準備を進める。	課題等	補助申請に必要となる個別施設計画には、今後策定される学校環境適正化計画との調整、施設の劣化状況の調査、構造躯体の健全性や、今後必要となる維持・更新コストなどを反映させ、改訂版の作成が必要となる。 策定した長寿命化計画には学校教育環境適正化計画が反映されていないことから、改修の優先順位を定め、国の補助金が充当される長寿命化改良事業の採択に向けた計画書の見直しと内容充実に取り組む必要がある。	学識経験者等の意見	目標を大幅に下回る結果となったが、原因がはっきりしている。そのことが大事である。次年度何をやるのか具体的に見えてくるので、その方向に向けて進んでほしい。長寿命化計画が策定できたことにより、申請も適正に行われることを期待したい。	<table border="1"> <tr> <td>取組の方向性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="checkbox"/> 廃止検討</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="checkbox"/> 単年度</td> </tr> </table>	取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input type="checkbox"/> 廃止検討		<input type="checkbox"/> 単年度
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の大規模改修や建替え事業は、多額の事業費となることから、地方財政措置のある国庫補助事業(長寿命化改良事業)で実施となる。 ・平成32年度から、国の事業採択には市の個別施設計画の提出が義務付けられることから、昨年度市で作成した「個別施設計画」をベースに、文科省が定めた項目を追加し作成する。 ・今後、作成する個別施設計画を踏まえ、大規模及び建替改修年次計画を策定し、H31年度から補助事業着手を可能とする。 															
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) これまで改築を前提としていた老朽化対策は、長寿命化改修に方向性を転換し、今後の方針を定めた「大館市学校施設長寿命化計画」を3月に策定した。 しかし、「大館市学校教育環境適正化計画」が未確定のため個別計画を反映させることが出来ず、当初計画していた平成30年度中の補助事業申請は見送った。 今後は、「大館市学校教育環境適正化計画」の策定に合わせて年次計画を作成し、補助申請の準備を進める。															
課題等	補助申請に必要となる個別施設計画には、今後策定される学校環境適正化計画との調整、施設の劣化状況の調査、構造躯体の健全性や、今後必要となる維持・更新コストなどを反映させ、改訂版の作成が必要となる。 策定した長寿命化計画には学校教育環境適正化計画が反映されていないことから、改修の優先順位を定め、国の補助金が充当される長寿命化改良事業の採択に向けた計画書の見直しと内容充実に取り組む必要がある。															
学識経験者等の意見	目標を大幅に下回る結果となったが、原因がはっきりしている。そのことが大事である。次年度何をやるのか具体的に見えてくるので、その方向に向けて進んでほしい。長寿命化計画が策定できたことにより、申請も適正に行われることを期待したい。															
取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続															
	<input type="checkbox"/> 廃止検討															
	<input type="checkbox"/> 単年度															

重点施策点検・評価表

1-2

基本目標			
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実		
重点施策			
2	健康維持増進の場としてのスポーツ、レクリエーション施設の整備充実に努める		担当課(館)
	① 新たなスポーツ、レクリエーション施設の整備		教育総務課
	活動内容	<p>・「二ツ山総合公園」の幼児エリア整備工事は、親水広場や休憩施設を、本年夏前に使用開始を可能とし、全体整備は、11月末までに完了させる。</p> <p>・「花岡総合スポーツ公園」は、昨年度の広場、多目的プールや多目的屋内運動広場に加え、本年度、体育館と武道場の改修を11月末までに完了させ市民が活用できるようにする。その他の公園として活用が有効な施設について、市民要望等によりスポーツ施設の確保、交流人口の増加と地域の活性化に繋げる施設整備を行う。</p>	
	点検評価	<p>■目標を上回る □目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>二ツ山総合公園幼児エリア整備工事は、幼児が集う親水広場を7月にオープンさせ、全体整備を11月末までに完成させた。また、3月にムービング遊具も追加で整備した。 花岡総合スポーツ公園は、体育館及び武道場を改修し、12月末までに工事を完了した。 いずれの施設もオープン直後から市民に利用され、新たなスポーツゾーン、レクリエーションゾーンとして今後の交流人口の増加につなげていきたい。</p>	
	課題等	<p>花岡総合スポーツ公園は、県から譲渡を受けた際に大館市民のみならず広域的な利活用を図るよう要望を受けている。 今後は、二ツ山総合公園も合わせて施設の利活用を広く周知し、有効活用されるよう努める。</p>	<p>取組の方向性</p> <p>■ 継続</p> <p>□ 廃止検討</p> <p>□ 単年度</p>
	学識経験者等の意見	<p>このような施設を知らない子ども、親もいるので、広報などで周知させてほしい。目標を上回る活動内容であったことは大きく評価したい。</p>	
	② 適切な施設補修の実施		教育総務課
	活動内容	<p>長根山陸上競技場や二ツ山総合公園のトイレ洋式化工事など、各施設の快適性、安全性、美観等に配慮した計画的な整備・補修を実施する。</p>	
	点検評価	<p>□目標を上回る ■目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>2020年東京パラリンピックに出場するタイのポッチャ・陸上競技チームが、事前合宿を大館市で行うことを決定したことを受け、長根山陸上競技場のトイレ洋式化工事を完了した。 また、インバウンドの受け入れやスポーツ合宿の誘致促進に向け、二ツ山総合公園のトイレ洋式化工事を実施するなど、各スポーツの施設修繕・改修工事を行い、利用者が快適で安全に利用できる施設整備に努めた。</p>	
	課題等	<p>1年後に開催する2020東京パラリンピックや、今後のスポーツによる交流人口の拡大やインバウンド受け入れ施設として、遅滞なくトイレ洋式化や施設の充実・改修を進めていく必要がある。</p>	<p>取組の方向性</p> <p>■ 継続</p> <p>□ 廃止検討</p> <p>□ 単年度</p>
学識経験者等の意見	<p>受け入れが決まったことにより、このような活動、事業が生まれた。今回のつながりが、スポーツだけでなく文化・交流の拡大につながっていくと思う。期待したい。</p>		

重点施策点検・評価表

1-3-1

基本目標			
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実		
重点施策			
3	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実に努める		担当課(館)
	① 市民文化会館の外壁大規模改修事業の完了		教育総務課
	活動内容	昨年度から実施している、外壁改修第二期工事を10月末までに完了させる。同時に、駐車場不足などの残された課題があることから、新たな事業計画の策定を含め課題解決に取り組む。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 外壁改修工事は、貸館業務に影響を及ぼすことなく、当初の計画どおり10月までに完成した。これに合わせて、市の財源確保及び企業のノウハウを活用した施設運営を市民サービスの向上を目的として、平成31年度からネーミングライツを導入することが決定した。課題となっている駐車場不足や前広場の改修は、緑地の駐車場化や民有空き地等の活用の検討に継続して取り組む。 また、かねてからエレベーター設置の要望を受けていたが、1階を2階同様に利用できるように展示室の利用方法を緩和し、和室同様に利用できるように簡易畳を配置するなど柔軟に対応できるようにした。	
	課題等	平成23年から継続して実施してきた改修工事と外壁改修工事が終了したことで、今後20年間の利用に係る大規模な補修工事は終了した。今後は、駐車場不足などの残された課題については、解決に向けて近隣公共施設との敷地活用調整や費用対効果の検証に取り組む必要がある。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	ネーミングに「鹿鳴」がついているところに文化会館らしい響きを感じる。新しい形でスタートできることを評価したい。駐車スペースについては、難儀しているが、以前よりも別の箇所も使えるようになっていることは評価したい。利活用が多いところは、休む暇がないため、それに対応できるように努力してほしい。	
	② 栗盛記念図書館のエアコン設置など、社会教育施設の維持管理及び充実		教育総務課
	活動内容	図書館資料室などのエアコン整備、田代公民館山田分館の屋根葺き替え工事他の実施により、社会教育施設の良好な施設環境の維持を図る。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 田代公民館山田分館屋根葺き替え工事などの社会教育施設の維持改修や、鳥潟会館・釈迦内体育館のブロック塀などの安全対策工事を実施し、社会教育施設の良好な環境整備に努めた。 その他、年度中に発生した緊急工事・補修工事等については、補正で予算を確保し年度内に全て完了させた。	
	課題等	公共施設等総合管理計画の「個別施設計画」では、現在使用中の施設は、全て当面活用することとしている。目的に沿った施設の整備・充実や有効かつ活発に活用されるよう取り組んでいく必要がある。 今後、施設統廃合による空き公共施設の増加が予想されるため、様々な活用方法を模索し、積極的な有効活用を図る。	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	安全対策は、何よりも緊急にやらなければならない。それを優先させてやったということは評価したい。空き公共施設をどのようにしていくのか、工夫が求められる。何に使えるのか、事例等を集めながら検討、研究を進めることが望まれる。	

重点施策点検・評価表

1-3-2

基本目標			
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実		
重点施策			
3	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実に努める		担当課(館)
	③ 社会教育施設の耐震対策事業の実施		教育総務課
	活動内容	耐震性能を有していない郷土博物館の耐震工事を年内に完了させ、利用者の安全と安心を確保する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)	
		郷土博物館の耐震工事が完了し、今後の利用者の安全確保が図られた。これにより、市内の小中学校及び社会教育施設の耐震性が確保されたことから、今後は老朽化した施設の改修及び長寿命化に取り組み、整備充実に図っている。	
	課題等	安心安全な施設の存続が図られたことから、積極的な利活用に向けた利用者の増加などの方策を検討していく必要がある。	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	耐震性の確保は、安全な環境づくりの大前提になる。所管する全ての教育関係施設において、確保されたことを大きく評価したい。利活用に関しては、市民の知恵を募る(市民の要請を反映させる)など、方向性を持たせながら考えてほしい。	
	④ 交流人口拡大に向けたニプロハチ公ドームの活用及び整備		教育総務課
	活動内容	・ドームの更なる活用による交流人口の増加を図り、地域の活性化に繋げるため、16年ぶり開催のコンサートを成功させる。 また、指定管理者及びネーミングライツ・パートナーと連携し、新たなイベントを創造する。 ・第3駐車場の舗装改修工事を実施し、駐車場の整備充実に図る。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)	
市議会や市民から切望されていたドームでのコンサートを16年ぶりに開催し、市内外から約3,000人を集客し成功裏に終えることができた。また、来場者アンケートの結果によると、約6割が市外から訪れて多くの宿泊者がいたことから、地域経済の活性化にもつながった。			
課題等	アンケート調査によると、今後も引き続きコンサートの開催を望む声が多かったことから、騒音問題など様々な問題をクリアして、事業の継続の可否を検討していく。 また、コンサート以外でドームの利活用を推進するため、ネーミングライツ・パートナーとも連携しながら、野球大会や祭事など集客力の見込まれる様々なイベントの開催を模索し、今後の新たな展開を図っていく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	
学識経験者等の意見	集客能力の高いアーティストの招致、市民のニーズに配慮しながらイベントを計画してやってもらいたい。市活性化のキーポイントの一つであることを意識してほしい。		

重点施策点検・評価表

1-4

基本目標			
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実		
重点施策			
4	大館の教育の理念と実践について、市民の周知と全国への発信に努める		担当課(館)
	① 教育委員会施策の情報発信の強化		教育総務課
	活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会会議に、施策やその実施状況の報告等を的確な時期に行い、協議・討議を語り、ホームページ等で議事録を公表する。 ・総合教育会議の議事録、教育委員会点検評価の公表などにより、教育委員会の活動を市民並びに全国に発信し、大館型アクティブラーニングの周知と、大館で学ぶ交流人口の拡大に努める。 ・開かれた教育委員会としてより透明性を図るため、ホームページの他、定例記者会見や報道機関への取材要請などを活用し、情報発信をより積極的に行う。 	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) (95~100%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80%未満) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る 総合教育会議及び教育委員会会議の議事録をホームページに公表して、教育委員会の活動内容を理解していただくとともに、施策の取り組みの透明化を図った。 また、教育委員会の重点施策の点検・評価について、学識経験者の知見を活用して実施事業の客観性を確保し、公表することにより教育委員会が進める大館の教育の理解に努めた。 ホームページを活用した施策・事業の周知は、定例記者会見や報道機関への取材要請などで積極的な情報発信に努めるとともに、各世代の多くが使用するスマートフォンに対応した表示ができるよう改良し、機能の充実に努めた。	
	課題等	常に最新情報の発信と更新を行い、ホームページ閲覧者にとって、さらに分かりやすく利用しやすい環境の整備に努める。 全国から関心を集める大館の教育の理念と実践を、ホームページを活用して全国に情報発信しているが、何よりも市民に対して周知を図り、市が取り組む大館の教育への理解を得ることが大切である。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	教育委員会のホームページにこれだけのアクセス(平成30年度:8,397件)があるということは、かなり注目されていることの証左。教育委員の会に諮るなど、手順を適切に踏んでホームページを作っていることは大変重要なことだと思う。説得力のあるホームページであり、また見たくなる、開きたくなるホームページになっている。ホームページは、市民に対する発信であると同時に、大館市民そのものを全国に発信していることにつながっていると思う。	
	活動内容		
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標どおり (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80%未満) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る	
	課題等		取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見		